

キーワード抽出

指定したキーワードが特定のフィールドに含まれている場合に指定したキーワードを出力する

◇機能

《キーワード抽出》は、指定したキーワードが特定のフィールドに含まれている場合に指定したキーワードを出力する機能です。

商品名	注文番号	金額
AAA GGG	101	5,000
BBB HHH	102	5,000
CCC III	103	5,000
DDD JJJ	104	5,000
EEE KKK	105	5,000
FFF LLL	106	1,800



商品名	キーワード数	商品名	キーワード	商品名
AAA GGG	1		AAA	
BBB HHH	0			
CCC III	0			
DDD JJJ	2		DDD,JJJ	
EEE KKK	0			
FFF LLL	0			

商品名から特定のキーワード（AAA,DDD,JJJ）を抽出

◇メニュー

《加工》-《キーワード抽出》

◇設定内容

1 テーブル名: キーワード抽出

2 検索する文字列: [検索したい文字列を指定します。複数指定可能です。]

3 大小文字区別: 0 (0: 区別しない 1: 区別する)

4 検索対象フィールド: 商品名

5 フィールド選択: [商品名]

6 IF条件: []

7 保存先: [保存先]

8 実行

9 キャンセル

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 検索する文字列 (必須) : 検索したい文字列またはフィールドを指定します。
複数の文字列を指定する場合は、カンマ (,) で区切ります。
(例) 「東京都」を検索する場合: "東京都"
「東京都」と「大阪府」を検索する場合: "東京都,大阪府"
3. 大小文字区別 : アルファベットの大きい文字と小さい文字を区別するかどうかを指定します。
0: 区別しない、1: 区別する
4. フィールドの全選択/全解除 : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
5. 《フィールド選択》ボタン : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
5. 偏差値計算フィールド (必須) : フィールドの一覧で、偏差値を計算する数値フィールドをクリックして選択します。
 - 小計フィールドには、数値型のフィールドのみが表示されます。
 - フィールドは、複数選択できます。
 - 選択した順に番号が表示され偏差値の計算結果として表示する列の順番が決まります。
7. IF条件 (任意) : 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
8. 《実行》ボタン : 実行します。
9. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

◇操作ログ

KEYWORDEXTRACT [検索フィールド]または"文字列" **大小文字区別 (0 or 1)** **SEARCH FIELDS** [検索対象フィールド1] [検索対象フィールド2] …または**ALLFIELDS ALLFIELDS OTHER** [その他出力フィールド1] [その他出力フィールド2] …または**ALLFIELDS IF 条件式 TO** 出力先

※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。